

「オホーツク」の発信と地域意識醸成について

「オホーツク」の発信と地域意識醸成に当たって、各市町村や振興局が「オホーツクイメージ発信プロモーション事業」と連携した取組を実施することにより、一層、効果的・効率的なプロモーションを推進するとともに、地域住民や企業、団体なども参加のできる仕組みを構築し、オールオホーツクで「オホーツク」をPRしていく方策を検討する。

1 「オホーツクール ロゴタイプ」の使用（案）

オホーツクの根源的な価値を伝えるキーワードとして、今年度のオホーツクイメージ発信プロモーション事業のキーワードとなった「オホーツクール」のロゴタイプを積極的に使用するとともに、管内の方々にも幅広く使用してもらえる方法の検討。

（1）市町村及び振興局の使用例

- ・役所から発信する『封筒』『FAX送信票』『メール署名』等
- ・各種印刷物（イベントポスター、ちらし、会議資料等）
- ・職員名刺
- ・啓発物品

＜振興局作成検討案：市町村へも配布予定＞

- ・襟章
- ・のぼり
- ・クリアファイル
- ・付箋やマスキングテープ等の文房具
- ・ポケットティッシュ

ほか

各市町村においても、予算等を勘案の上、可能な範囲での実施を依頼

（2）個人・団体・企業等の使用例

オホーツク管内在住の者及びオホーツク管内に事業所を置く団体等を想定。ただし、事業趣旨に賛同してくれる場合は、上記に限らず広く使用を認める。

- ・商品等のパッケージ
- ・ちらし等印刷物

（3）使用方法

- ・新たに印刷して使用する場合は、テンプレートを提供。
- ・既存の印刷物等に貼付して使用する場合は、ステッカーを配布。

（4）使用基準・使用マニュアル

別添案のとおり。

2 「オホーツクール」のPR（案）

（1）パネル展の開催

委託事業で納品される「18市町村コンセプト・ビジュアル」パネルを利用したパネル展の実施について検討。

< 振興局開催検討案 >

- ・道施設（振興局ロビー・本庁舎1階ロビー）
 - ・教育機関（東京農大・北見工大等）
 - ・空港ロビー（女満別・紋別ほか直行便運航空港等）
- ほか

各市町村庁舎ほか、実施可能な時期・場所の検討を依頼。

※ 日程等の全体調整は、振興局において実施。

（2）B2ポスターの展開

委託事業で各1,000部納品される大西氏作成の「オホーツクール」ポスター及び「村本氏&18市町村長：炎上さんいらっしゃい」ポスターを、各市町村内の施設、事業所、飲食店等に掲示を依頼。より多くの住民・観光客等の目に触れるような展開を検討。

（3）啓発物品の配布

「オホーツクール」を浸透させるため、1-（1）「オホーツクール ロゴタイプ」を使用した啓発物品等を、管内外で積極的に配布することにより、事業のPRを図ることを検討。

（4）ハッシュタグ「#オホーツクール」の使用

Twitter、インスタグラム、Facebook等のSNSで「オホーツク」関連情報を発信する際に「#オホーツクール」をつけて投稿。情報や画像を検索しやすくすることで、一般の方のハッシュタグ投稿を誘導し、「オホーツクール」を拡散させていくことを検討。

< 振興局使用検討案 >

- ・つくつくオホーツクんインスタグラム
 - ・つくつくオホーツクんFacebook
 - ・職員の個人的使用のよびかけ
- ほか

SNSでの使用や、職員の個人的使用の呼びかけについて依頼。

(5) 地域の主な団体等への事業の概要説明

市町村と振興局が一体となって実施する「オホーツクイメージ形成・発信プロジェクト」については、地域の協力が不可欠であることから、地域の主な団体等を訪問するなどし、プロジェクト事業の概要について説明する。

< 振興局訪問検討先 >

- ・道財務局北見出張所、釧路自然環境事務所、道運輸局北見運輸支局、道森林管理局（知床森林センター、網走南部森林管理署、常呂川森林環境保全ふれあいセンター）、道開発局網走開発建設部、網走地方気象台
 - ・オホーツク農業協同組合長会、北海道農業協同組合中央会北見支所、北見管内漁業協同組合長会、オホーツク管内森林組合振興会、オホーツク商工会議所協議会、オホーツク管内商工会連合会
オホーツク観光連盟
 - ・北洋銀行北見中央支店、北海道銀行北見支店、網走信用金庫本店、北見信用金庫本店営業部、遠軽信用金庫本店営業部、北海道労働金庫北見支店、日本政策金融公庫北見支店
 - ・東京農業大学、北見工業大学、北見看護大学
 - ・女満別空港ビル(株)、オホーツク紋別空港ビル(株)、JR北海道旭川支社
 - ・「オホーツクスイーツ」協力菓子店
 - ・包括連携協定締結企業等
- ほか

各市町村内の生活衛生同業組合ほか、事業実施に効果的と考えられる団体等への実施について依頼。

3 各種イベント等との連携（案）

イベント開催時に、観光協会や実行委員会等にも協力を依頼して、ステージでのPRや専用ブースの設置など、PR事業の実施について検討。

< 平成29年度振興局実施予定事業 >

- ・「北海道・オホーツクウィーク」移住セミナー&個別相談会
11月25日(土)~26日(日) ふるさと回帰支援センター（東京都）
 - ・JOIN移住・交流&地域おこしフェア
1月21日(日) 東京ビッグサイト（東京都）
 - ・オホーツクフェア2018
1月24日(水)~25日(木) 札幌駅前通地下広場（札幌市）
- ほか

平成29~30年度に各市町村で開催されるイベントでの実施について、検討を依頼。

4 「オホーツク」の冠付けの検討について（案）

「オホーツク」の認知度を向上させるため、イベントや施設名等の固有名詞、商品名等に「オホーツク」を冠付けてもらえるように検討。

（1）対象例

- ・オホーツク管内で開催されるイベントや講習会等の事業

平成30年度オホーツク総合振興局独自事業には、全ての事業名に「オホーツク（ないし知床）」を付与。

※ 公園等の施設名や広域団体名、商品名等へいかに拡大させていけるか、実施時期等も含めて、今後の検討が必要。

＜商品等使用案＞

オホーツク産のもの、オホーツク産の原材料を使用しているもの
オホーツク管内で加工・製造されているもの
オホーツク管内に事業所を置くものが加工・製造したもの

（2）使用基準

「オホーツク」は、広く一般的に使用されている語句のため、申請や届出等はないため、「申請制」や「登録制」とはしないが、冠付けしていただいたものについては、優先的に景品や啓発物品等として利用したり、パンフレットやHPで積極的にPRするなど、特典の付与を検討。

なお、既に「オホーツク」が名称に含まれているものについても、適当と認められ、かつその代表者等が「オホーツク」の普及促進の趣旨に賛同してもらえる場合は、特典等について新規同様に取り扱うことも検討。